

第二の
ふるさとを
探して

第7話 — 瀬戸内海の
原始林

広島・宮島 弥山

穏やかな海に多島美の世界が広がる瀬戸内海。
世界遺産の島・宮島の奥深くに足を踏み入れると、
太古からの姿を今にとどめる原始林と
巨岩の姿が織りなす、
時空を超えたような景観が広がっていた。

写真・黄瀬麻以 文・渡邊卓郎

輝く海に降り注ぐ陽射しと、乾いた風。
年間を通して降水量が少なく晴天の日が
多い瀬戸内地方は、「日本の地中海」と
も称される。その温暖な気候は古来より
人々の暮らしに恵みをもたらしてきた。

瀬戸内地方の気候が育んだのは、柑橘
類や魚介類といった食の恵みだけではな
い。「多島美」と称される、美しい海に
点在する島々や、瀬戸内に多く見られる
花崗岩からなる特異な地形美も、この地
ならではの魅力である。

広島県南西部に浮かぶ宮島も、そんな
瀬戸内の恩恵を受ける島のひとつである。
世界遺産・厳島神社の朱塗りの社殿が海
上に映える姿はあまりにも有名だが、そ
の背後にそびえる弥山^{みせん}の存在を知る人は
意外に少ないかもしれない。

標高535メートル。その山頂へ至る
道のりには、1万年以上にわたって残る
原始林の奥深い自然と、巨岩・奇岩が無
数に点在し、瀬戸内海の穏やかな空気
の中に太古からの時間を感じさせる、神
秘的な景観を形づくっている。弥山全体に
ツガやモミ、ブナといった樹木が群生す
る原始林の世界は、歩くことでこそ堪能
できるのだ。

宮島口からフェリーで海を渡り、宮島
栈橋から紅葉谷公園を経てロープウェー
乗り場へ。中腹の獅子岩駅までの約15分
間の空中散歩では、眼下に広がる多島美
と豊かな森の姿に驚かされることだろう。



右：宮島ロープウェー獅子岩駅を降りてすぐの獅子岩展望台からは、瀬戸内海の絶景が広がる。上：宮島口と宮島を結ぶフェリーは「JR西日本宮島フェリー」と「宮島松大汽船」の2社が運航。どちらも約10分の船旅。左：宮島栈橋から参道の街並みと公園を抜け、徒歩約25分で紅葉谷駅へ。そこからロープウェーを2本乗り継いで獅子岩駅へ。





上：弥山山頂には360度の大パノ
ラマが広がる。初代内閣総理大
臣・伊藤博文は、「日本三景の一
の真価は頂上の眺めにあり」と称
えたという。左下：この巨岩・奇
岩の景観が、山岳信仰の対象とな
った。



の島々が、光を受けて静かに連なる眺めは、訪れる者の心を奪う。
晴れた日には、遠く四国の山並みまで望むことができ、その奥行きある眺めには思わず息を呑むだろう。海に囲まれた日本の風景の中でも、ここまで穏やかな感情を抱かせる海はほかにない。いつまでも眺めていたくなるこの風景こそ、瀬戸内海の魅力にほかならない。



右：宮島棧橋から続く参道には、ノスタルジックな街並みが広がる。左：厳島神社を象徴する大鳥居。古くから観光客に親しまれてきた宮島は、2024年に年間来島者数の過去最多記録となる485万人を達成した。



全国各地の知られざる魅力を
ダイナスクラブの
目利き力をもってお届けします。

※本誌72～73ページをあわせてご覧ください。



右：山頂へと続く登山道には、花崗岩の奇岩・巨岩がいくつも現れる。左：厳島神社の背後に広がる紅葉谷公園は、弥山の麓に位置する。園内には紅葉谷川の心地よいせせらぎが響く。

この奇岩怪石群が織りなす風景は、古くから人々の心を打ち、やがて山岳信仰の礎となった。ここはかつて修験者たちが祈りを捧げた場所であり、自然と神聖が交差する象徴ともいえる。
巨岩と木立の間を縫うように歩みを進めると、やがて視界が開け、弥山山頂へとたどり着く。そこには360度の大パノラマが広がり、瀬戸内海に浮かぶ無数

その眺めは、まさに瀬戸内海でしか見ることができない風景そのものである。
ロープウェイを降りて登山道へ足を踏み入れる。よく整備された道は緩やかに標高を上げながら、森の奥へといざなう。歩みを進めるごとに現れる巨岩群。その存在感は圧倒的でありながら、どこか静けさと優しさをたたえている。森の中に響くのは、賑やかにさえずる鳥たちの声。ヤマガラやキビタキの鳴き声が、深い森の息遣いとともに心を静かに癒してくれる。
弥山の巨岩は、この地の主な地質である花崗岩が、長い年月をかけて風化と浸食を繰り返すことで形成された。昼夜の寒暖差、風雨、樹々の根の力が岩を裂き、磨き、崩し、再び積み重ねていった結果に生まれた独特の景観は弥山ならではのものだ。自然という時間の積層が形となって現れた、まさにネイチャーアートと呼ぶべき光景である。



右：弘法大師が灯した霊火「消えずの火」が燃え続ける「霊火堂」。中：「消えずの火」は広島平和記念公園の「平和の灯火」の種火となっている。左：宮島に生息するニホンジカは、約6000年前からこの地にいたとされる。

